

JIS

PCまくらぎ用レール締結装置

JIS E 1118 : 1997

(2007 確認)

平成 9 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS E 1118-1990は改正され、この規格に置き換えられる。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。主務大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成2.2.1 改正：平成9.11.20

官報公示：平成9.11.20

原案作成協力者：社団法人 日本鉄道施設協会

審議部会：日本工業標準調査会 鉄道部会（部会長 原山 清巳）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部機械規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

PCまくらぎ用レール締結装置

E 1118 : 1997

Prestressed concrete sleepers—Rail fastenings

1. 適用範囲 この規格は、PCまくらぎにレールを装着するために用いるレール締結装置(以下、締結装置という。)について規定する。

備考 この規格の引用規格を、付表1に示す。

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、JIS E 1001によるほか、次による。

- (1) 軌間調整金具 軌間の保持及び調節のために使用する角形の部品。ゲージブロックともいう。
- (2) ばね受台 軌間の保持及び調節並びにレールとまくらぎとを絶縁するために使用するくさび状の部品。
- (3) 絶縁カラー レールとまくらぎとを絶縁するため、板ばねと締結ボルトとの間に装着する部品。
- (4) 受栓 レールとまくらぎとを絶縁するため、軌間調整金具及び板ばね尻部付近のPCまくらぎコンクリート部に装着する部品。
- (5) 埋込カラー レール締結ボルトを締着するために、PCまくらぎ、軌道スラブなどに埋め込んである部品。

3. 種類及び記号 締結装置の種類及び記号は、用途によって分類し、表1のとおりとする。